

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社ベルーナ	事業所名	吉見ロジスティクスセンター				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ法の定期報告を行い、内部での課題の抽出をする</li> <li>・課題に際し、改善の取り組みを検討する</li> </ul>			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	定期的な打ち合わせを実施し、課題の検討を行う。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	委託している運送会社において「自動車地球温暖化対策計画書」の提出を行っている事を確認している			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISO14001を取得している運送会社と契約をしている			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ( )	取り扱いアイテムごとに物流拠点を分散させ、入荷トラックの滞留などを軽減させるなどの取り組みを実施している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	お客様からの受注を極力Mixした形で出荷するようにシステムで制御			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	県別に配送会社を選定している事で、配送会社で混載便が可能になる	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	トラックの積載率向上の為に集荷時間を午後に集中するように実施	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	・納品時間を午前中に、出荷用集荷トラックは午後にと分散(荷量の平準化) ・運送会社のベースでの仕分け作業に合わせた配車(方面別集荷による直行便の対応)	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	時間に合わせた着車時間のシステム導入は行わず、時間範囲内での荷受け時間の設定 ※近隣の倉庫では導入しているようですが、その為、時間調整の為周辺に路上駐車が増えている現状を踏まえ、逆に環境には悪い考えている	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減	自社納品の物量を分散し、効率的な荷受け体制の実施	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ( )	資材の納品などの回数を抑えるために、倉庫内の保管スペースの確保	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	運送会社では電気自動車の導入を増やしており、早期導入を要請する	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	貨物事業者に対しエコドライブの実施を要請している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	・2023年度目標で自動車Nox、PM排出量25%削減 ・2030年までに電気自動車を1%を35%に上げる 上記の進捗を会議で確認をする	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	自社敷地内に車両の待機場有り	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ( )	3PL業者を活用し、業務の一部を委託し効率的な運用を実施	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ( )	鉄道輸送によるモーダルシフトの推進(北海道への配送への導入)	○	○	○
11 その他の必要な取組 ( )	車ではなくバイクや自転車での配送を行うエリアもある(都内など)	○	○	○

## 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社ベルーナ	事業所名	吉見ロジスティクスセンター			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

# 自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 ----- ( 01 ) 公共交通機関利用促進のための情報提供	公共機関での通勤方法の掲示	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 ----- ( 02 ) 送迎バス等の運行	従業員の居住区に近い場所からセンターまで、送迎バスを行っている。	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 ----- ( 03 ) 公共交通機関利用者への優遇策	交通費の上限金額を変更(+67%)	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 01 ) 自転車の安全利用の促進	安全利用推進制度の検討	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 02 ) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場有り(屋根付き、街灯有り)	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 03 ) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	利用者の登録の管理	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 04 ) 自転車通勤者への優遇策	距離に応じた交通費の支給	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 その他マイカー通勤を削減するための取組	近隣雇用の促進	○	○	○
( 01 ) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し				
04 その他マイカー通勤を削減するための取組	一部実施	○	○	○
( 04 ) テレワーク制度の導入				
04 その他マイカー通勤を削減するための取組	軽自動車の駐車場の優先	○	○	○
( 05 ) 啓発活動の実施				
07 時差通勤の実施	出勤シフトを35パターンあり	○	○	○
( )				